

令和6年度 第1回赤磐市男女共同参画推進審議会 議事要旨

日時	令和6年8月27日（火） 13時30分～15時00分	
場所	赤磐市役所 本庁3階 第1会議室	
次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 委嘱状交付 4 自己紹介 5 会長及び副会長の選出（会長就任あいさつ） 6 「赤磐市男女共同参画推進審議会」会議の申し合わせ事項について 7 議 事 (1) 第4次赤磐市男女共同参画基本計画の令和5年度実施状況について (2) その他 8 閉会	
出席者	委員	秋川 陽一、越宗 勇、遠藤 益恵、桑田 江里子、森田 尚希、黒澤 陽子、木村 敏子、實盛 保子、眞野 なぎさ（9名）
	赤磐市	市長、市民生活部長、協働推進課長、事務局2名
<p>●赤磐市男女共同参画推進条例施行規則第6条第2項の規定により、半数以上の参加があるため、会議成立。</p> <p>■議事内容</p> <p>（1）第4次赤磐市男女共同参画基本計画の令和5年度実施状況について</p> <p>事務局から説明を行い、委員から以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年ちょうど中間年になる。令和3年3月に方針を出したが、作った時と情勢も変わってきた。見直しとまではいかないが、中身・構造は変えないが数値目標は議論して変えていく方が良いのではと思うので、令和6年度中の変更の検討をお願いする。 ・実施報告書（数値目標）を見る時、年齢層が解れば考察するうえでより役に立つのではないかと。項目すべてに求めるものではないが、参加している年齢層がわかれば有難い項目が所々ある。 ・男性職員の育児休業取得率が上がってきているというのは、喜ばしいことだ。しかし、しくみや環境がまだ整っておらず、結局育児をしながら、家で仕事を引きずっているケースがどうしても起こってしまう。連絡しないようにしようと思っても連絡せざるをえなくなったり、オンラインでやったり。そうしたら育児休業の意味があるのかと思う。本当の意味で育児休業になっているのかと思うことがあるが、数（%）は増えているので、途中で見直して、少なくとも3割超ぐらいの数値目標に見直しを検討してほしい。 ・審議会等の女性の登用は、もう少し女性の割合を増やすべき。 ・人権学習講座は参加者数がだいぶ減っている。興味のない人が興味を持つにはどうするのかという根本のところの話で、そこが問題で昨年も絞ったものにしないといけないのではないかと大分意見したが、出来ていないからこうなったのではないかと。 ・男女のニーズの違いを踏まえた災害対応についての啓発について、防災会議女性委員の登用率7%の内訳だが、年齢層にも配慮すべきものだと思うし、医療関係・教育・保育といった様々な視点から意見を言える方々が参加されるのがより良い。年齢層というのは目指すものに向かって必要な観点で重要と思うので、また教えてほしい。 		